

平成 28 年度 事業計画

我が国は世界に前例のない速さで少子高齢化が進んでいます。とくに、超高齢社会の到来により、地域社会の活力低下や高齢者の孤立化などの問題が顕在化しています。

このような中であって、老人クラブ（以下「クラブ」という。）は、地域を基盤とする自主的な組織として、健康づくり、仲間づくり、高齢者相互の支え合いづくり、社会貢献活動などをおして、高齢者の自立を支える安全・安心の仕組み（セーフティネット）を構築することが期待されています。

横浜市老人クラブ連合会（以下「市老連」という。）は、こうした期待に応えるため、「健康・友愛・奉仕」の三大運動を進めて、活力ある地域社会づくりに取り組んでいきます。

介護保険法の改正に伴う「新地域支援事業」については、クラブが友愛活動など積み重ねてきた経験を活かし、行政施策等と調整を図っていきます。

市老連は平成28年1月に「かがやきクラブ横浜」を愛称に決めました。愛称の活用をおして、クラブの一体感、統一感を生み出すとともに、高齢者がいつまでも健康で明るく元気で活動できるように、次の事業を進めていきます。

I 公益目的事業

1 老人クラブ助成事業

(1) 単位クラブ及び区老人(シニア・シルバー)クラブ連合会（以下「区老連」という。）への支援

① 単位クラブ等への支援

単位クラブ等の活動を支援するため、助成します。

ア 単位クラブへの助成

単位クラブに対し健康づくり・仲間づくり・地域への奉仕や、各種スポーツ活動など幅広い活動を支援するため助成します。

イ ミニクラブ活動への助成（仲間づくり支援）

クラブ活動につながる一般高齢者の小グループにミニクラブとして助成を行い、5年以内での適正クラブへの移行を支援します。

※シニアクラブをミニクラブに本年度から名称変更しました。

② 各区老連への支援

単位クラブや地区（支部）クラブ連合会（以下、「地区老連」という）の活動を支援し、各種大会を開催したり、単位クラブや地区老連の人材育成を進める各区老連に対し助成します。

また、区老連事務局の役割は重要であり、その円滑かつ適正な事務処理を進めるため、事務局職員のスキルアップ研修の支援や情報提供を行うなど協力します。

(2) 健康づくり・介護予防事業の推進

高齢者が日常生活の中で楽しみながら継続的に取り組み、介護予防にも繋がる健康づくりのための各種事業を支援します。

① 「体操ひろ場」事業（体操とウォーキング）

単位クラブが中心となって、高齢者が地域での体操やウォーキング等を通して健康の輪を広げ、寝たきりや引きこもりになるのを防止し、仲間づくりを進めていく活動へ助成します。

② シニアスポーツの推進

高齢者が、地域の身近な施設や場所で、仲間と楽しく無理なく続けることができる新しいスポーツ種目を紹介し、実際に体験する機会をつくります。また、区老連、地区老連、単位クラブ活動として取り組めるよう支援します。

③ 「アス・トレへの挑戦」事業（ノルディックウォーク）

区老連、地区老連などで実施するノルディックウォークの取り組みに対して助成を行います。また、単位クラブのノルディックウォークの取り組みを推進します。

※「アス・トレ」とは「アスリート・トレーニング」「明日へのトレーニング」の2つの意味を持たせた造語です。

④ 区老連スポーツ活動事業

高齢者を対象とした日常生活を豊かにする区全体規模のスポーツ活動事業に対して助成します。

上記【(1) ②各区老連への支援】で取り組む活動や新規事業を対象とします。

⑤ 効果測定事業（姿勢測定、体力測定など）

基本的な運動を継続し、その効果を測定することでより意欲的にまた、意識的に健康づくりを進める区老連の取り組みに対して助成します。

⑥ 横浜市の事業「よこはま健康スタイル」との連携

「健康寿命日本一」を目指し、370万市民が日常生活の中で楽しみながら継続的に取り組める健康づくりのムーブメントを起こし、健康ライフスタイルの浸透を図ることを目的」として実施される予定の横浜市の取り組み（3事業）と市老連事業との連携を図りながら、それぞれの事業を推進します。

- ・「よこはまウォーキングポイント」：歩数計を使ってウォーキングを推進
- ・「よこはま健康スタンプラリー」：健診・健康づくり・社会活動の推進
- ・「よこはまシニアボランティアポイント」：ボランティア活動の推進

⑦ 「介護の日&よこはま健康スタイル」フォーラム 11月開催予定

横浜市と連携して開催します。

⑧ 活動拠点型健康づくりモデル事業【新規】

活動の核となる公園や施設を拠点として、拠点のある区と隣接する区の会員等が集い、健康づくり・介護予防を目的とした種々のスポーツや文化活動等を行うことにより、区域を超えた会員同士の親睦を図るとともに、会員の更なる健康長寿を目指す事業に対して助成します。

(3) 社会参加活動の推進

① 「老人の日・老人週間」の推進

「老人の日・老人週間」は、国民の間で広く高齢者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、高齢者に対し自らの生活の向上に努める意欲を促すために制定されました。この制定の趣旨を踏まえ、市老連においては全国的なキャンペーン運動に呼応して「老人の日・老人週間」の周知・普及に努めます。また、各区老連においては「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を中心とした活動を自主的・主体的に取り組みます。

② 『社会奉仕の日』の取り組み

「社会奉仕の日」（9月20日）は、多くのクラブで取り組まれていた奉仕活動を、全国一斉に実施することにより、地域社会に対する感謝と地域の担い手としての活力を示そうと全国運動として提唱しています。市老連においては、これまでの経験を生かして、地域団体や住民と協力しながら、地域の緑化、美化、資源ゴミのリサイクル等の活動を中心に、幅広いボランティア活動として取り組みます。

(4) 友愛活動の推進

高齢者が同じ世代の仲間として支え合うクラブの友愛活動は、地域に定着しつつあります。友愛チーム、地区友愛活動部会、区友愛活動部会の取り組みが、より充実した活動になるよう支援します。

○ 地区友愛活動部会への支援

地域の高齢者ひとり一人にふさわしい支援を行い、日常的な繋がりをつくり支え合う友愛活動を推進するために、地区友愛活動部会に助成します。

(5) 女性委員会活動の推進

クラブ会員の約62%を占める女性会員のニーズと特性を活かし、女性リーダーが参画し活性化したクラブ活動を展開するために、各区に設置した女性委員会の活動を支援します。

① 「アス・トレへの挑戦」事業（ノルディックウォーク）※再掲

② 危機管理対策事業【拡充】

横浜における防災・減災対策の現状を知るとともに、自宅にいる時や買い物等での外出先で、地震などの災害が発生したらどのような危険があるかを考え、減災行動につなげます。

③ 効果測定事業

※再掲

(6) 区老連の文化活動事業等への支援

① 区老連文化活動自主事業

高齢者を対象とした日常生活を豊かにする区全体規模の事業に対して助成します。

② スポーツ・文化等リーダー養成事業

単位クラブだけでは十分な活動ができないスポーツ・文化などの活動を地区のクラブで充実・活性化させるため、区老連や地区老連で中心的役割を果たすリーダーの育成、また、スポーツ・文化などの活動事業を企画・実施できる人材を育成する区全体規模の「研修会・講習会」に対して助成します。

③ 教養講座（歴史・文学など）事業

区老連の魅力を高めるため、歴史・文学等の講座を開講する区老連に対して助成します。

2 スポーツ・文化事業

(1) 健康づくり、仲間づくり、社会参加活動の推進

① 『健康づくり運動』の推進

クラブを拠点に、高齢者の健康維持増進と、健やかな生活を築くために進めている『健康づくり運動』について、今後とも一層の推進を図ります。

ア 「全国健康福祉祭」の予選会を兼ねて、シニアスポーツ大会を開催します。

(ア) ゲートボール大会

開催期日 平成28年4月6日

会場 保土ヶ谷公園『運動広場』

参加人員 各区 2チーム 選手他約400人

(イ) グラウンド・ゴルフ大会

開催期日 平成28年4月20日

会場 金沢区『長浜公園』

参加人員 各区 6人 選手他約150人

(ウ) ペタンク大会

開催期日 平成28年5月11日

会場 都筑区『葛が谷公園』

参加人員 各区 2チーム 選手他約200人

イ 『全国健康福祉祭』（ねんりんピック）への参加協力

開催期日 平成28年10月15日～18日

会場 長崎県内

種目 ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ペタンク、囲碁、将棋

(2) 文化・趣味活動の推進

教養の向上・健康の増進並びに時代に適応した社会感覚と知識を深めるための学習活動を育成するとともに、生きがいを高める文化・趣味の活動として、次の事業を行います。

①「全国健康福祉祭」の予選会を兼ねた囲碁・将棋大会の開催

ア 囲碁大会

開催期日 平成28年5月18日

会場 うらしま荘

参加人員 各区5人(女性2人) 選手他約90人

イ 将棋大会

開催期日 平成28年5月26日

会場 うらしま荘

参加人員 各区3人 選手他約70人

②カラオケ大会の開催

開催期日 平成28年12月2日

会場 鶴見区サルビアホール

参加人員 各区2人 出場者 36人

3 講座・セミナー・育成事業

(1) 会員の増強及び会員意識の高揚

① クラブ会員の加入促進

減少傾向にあるクラブ会員の加入促進のため、引き続き各区老連と連携し、会員増強運動を進めます。

② 横浜市老人クラブ大会の開催

市内約12万人のクラブ会員の代表が一堂に集い、永年にわたりクラブの運営に尽力された方々を顕彰するとともに、クラブの更なる発展を期します。

会場 神奈川公会堂

開催期日 平成28年10月26日

参加人員 約600人

③ 会員増強特別表彰【継続】

会員増強運動を推進し、会員数の増加について顕著な実績をあげた団体を特別に表彰します。

(2) クラブ指導者の研修会の開催及び参加

① 区老連会長等役員研修会

各区老連会長等役員を対象とした研修会を開催します。

② 全国老人クラブ連合会等の各種研修会への参加者派遣

全国老人クラブ連合会及び関東甲信越静ブロック老人クラブ連絡協議会開催の各種研修会へ参加者を派遣します。

(3) 友愛活動の推進

同じ世代の仲間として支え合う友愛活動を推進するために、訪問活動、見守り活動、居場所・たまり場づくり活動、外出援助等の日常生活支援活動などに取り組みます。

友愛チーム、地区友愛活動部会、区友愛活動部会の取り組みがそれぞれの実情に合わせ、より充実した活動になるよう支援します。

① 市老連友愛活動委員会の開催（年3回）

委員会では、各チームの活動を推進するための情報の提供など、各区においてより充実した取り組みができるよう検討します。

開催日 4月22日、9月16日、29年2月24日

② 市老連友愛活動研修会の開催（年2回）

市内232地区の代表を対象に、友愛活動に関する情報の提供と活動のあり方に関する研修を行い、友愛チームのより円滑な活動の定着化を図ります。

開催日 6月14日、11月14日

③ 居場所・たまり場づくりの推進

「居場所・たまり場づくり」の推進3年計画（26～28年度）の3年目となる今年度は、昨年度に実施した調査結果報告を踏まえ、1つでも多くの「居場所・たまり場」が開設できるよう支援します。また、全地区（232地区）の「居場所・たまり場マップ」を作成します。

(4) 女性委員会等の強化

各区の女性委員会等の強化や活動の活性化を目的として、女性委員や女性リーダーの育成を図るため次の研修や事業を実施します。

① 市老連女性委員会の開催（年3回）

市老連女性委員会事業を主体的に企画・運営するために委員会を開催し、情報交換や意見交換をするとともに今後の活動計画を検討します。

開催日 4月14日、8月30日、29年2月16日

② 女性リーダー代表者研修会の開催

各区の女性委員会（女性部会）委員を対象に、各区の活動について情報交換や参考事例の紹介を行うとともに、女性リーダーの育成を図ります。

開催日 6月16日

③ 女性委員会事業の機能強化

区老連女性委員会が取り組む「アス・トレへの挑戦」事業、危機管理対策事業、効果測定事業などに協力します。さらに、市老連女性委員会がモデル事業に取り組み、区老連女性委員会事業の機能強化を支援します。

(5) 教養と知識を高める活動の推進

超高齢社会の高齢者は受動的ではなく、主体的に生きることが求められています。また、さまざまなクラブ活動を推進していくうえで、人材の育成も重要な要素です。横浜シニア大学では、高齢者が主体的に生きるために必要な知識を学ぶ講座を実施します。また、昨年度に引き続き、若手リーダーの養成やスポーツリーダーの養成を行います。

① 横浜シニア大学の開講

ア 一般講座

一般講座では、主体的・活動的に生きる高齢者の養成をめざし、介護予防などの高齢者に必要な一般的知識と高齢者が自らの人生の再設計に必要な知識を学ぶ講座を開催します。

(ア) 合同開講式【新規】

開催日 6月3日
会場 関内ホール
参加人数 約800人

(イ) 各区会場

会場数 18会場
日程 6月～10月
講座開設 12講座
受講定員 1,045人

イ 特別講座

一般講座のカリキュラムをさらに深める場として「健康寿命をのばそう」をテーマに連続講座を開催します。

講座開設 5講座（6月～7月）
会場 ウイリング横浜12階（上大岡）
受講定員 100人

ウ 若手リーダー養成講座

クラブの魅力と活力ある活動をつくるための担い手の養成講座を開催します。区や地域において区老連、地区老連、単位クラブの各種事業の企画・運営に参画することを目的に、新任単位クラブ会長や今後単位クラブを担おうとする人々を対象に、リーダー養成講座を実施します。

開催日 平成28年8月～12月
会場 うらしま荘会議室他
受講定員 60人

エ スポーツリーダー養成講座

クラブが行うスポーツ活動を充実するため、スポーツリーダーとして必要な知識、技術の習得を図る養成講座を実施します。

○ペタンク講習会

開催日 平成28年9月～11月
会場 沢渡中央公園
受講定員 40人

○グラウンド・ゴルフ講習会

開催日 平成28年9月
会場 沢渡中央公園
受講定員 40人

4 老人福祉センターの運営事業

老人福祉センターは、老人福祉法に基づく施設で、地域の高齢者に対して、健康の維持・増進、教養の向上、レクリエーションの提供や、生活・健康等の各種相談に応じるなど、各種のサービスを総合的に提供することを目的としています。

本年度は第3期指定管理の初年度であり、クラブ活動との連携をさらに進めるとともに、利用者がより快適に利用していただけるように、サービス向上と効率的な運営に努めます。

名 称	所 在 地	定 員
蓬 萊 荘	横浜市港南区港南台 6-22-38	280人
狩場緑風荘	横浜市保土ヶ谷区狩場町 295-2	250人
菊名寿楽荘	横浜市港北区菊名 3丁目 10-20	150人

5 広報・企画・調査事業

(1) 「100万人会員増強運動」(全老連)

全国のクラブでは、平成10年をピークにクラブ数・会員数が減少し、平成24年度までに約2万クラブ、200万人の会員が減少しました。そのため、全国のクラブ関係者が総力を結集して、組織の基盤となる会員増強に向けて、全国運動として、「100万人会員増強運動」を推進しています。

市老連も「100万人会員増強運動」と連携して会員増強に取り組み、5年間で10%増を目標として会員数の増加に取り組みます。

(2) クラブ活性化行動計画の推進

市老連として、会員増強や各種事業の工夫などクラブの活性化を図るため、「横浜市老連老人クラブ活性化行動計画」(平成25～29年度)を各区老連とともに推進してきました。しかし、会員増強をはじめ様々な活性化への取り組みは、十分な成果をあげているとは言えない状況が続いています。

これまでの3年間の取り組みを振り返り、魅力あるクラブになるための対策を検討します。

(3) 広報事業

会員に対し、クラブ活動に役立つ情報や健康、教養、生きがいにつながる情報を提供します。また、市民に向けた老人クラブ活動紹介などを進めるため、機関誌の発行、ホームページの充実などの広報事業を行います。

① 機関誌『かがやきだより横浜』の発行

年4回(4月、7月、10月、1月) 全面カラー版 発行部数 各12万部

※「シニアだより横浜」を「かがやきだより横浜」に本年度から名称変更しました。

② ホームページの充実

随時更新（老人クラブの役割・使命の紹介、市老連事業の参加者募集など）

③ 愛称「かがやきクラブ横浜」の活用

公益財団法人横浜市老人クラブ連合会の愛称を「かがやきクラブ横浜」に平成28年1月に決めました。クラブを健康で元気なイメージと結びつくよう、活動や広報などの様々な場面で使用し、広く一般の市民にも知っていただき、クラブのイメージアップを図ります。

（４）調査事業

① クラブ活動を充実するための会場の確保

クラブが取り組む健康づくり活動や介護予防活動などを今後さらに普及させるため、早期に確保できる会場や、会員がスポーツ、イベント、各種会議などに常時利用できる会場について、老人福祉センター等諸団体との連携を含め市内の調査を実施し、クラブの活性化を図ります。

② 居場所・たまり場づくりの推進 再掲

法人の運営

1 理事会・評議員会等の開催

公益財団法人として適切な運営を行うため、次の会議等を開催します。

- ・ 決算会計監査 平成28年5月30日
- ・ 理事会 平成28年6月8日
- ・ 評議員会 平成28年6月24日
- ・ 理事会 平成29年3月15日

その他、必要に応じて随時開催します。

2 正副理事長会、区老連会長連絡協議会、その他の諸会議の開催

必要に応じて随時開催します。

- ・ 正副理事長会
- ・ 区老連会長連絡協議会
- ・ 財産運用委員会
- ・ コンプライアンス委員会
- ・ 区老連事務職員事務説明会